

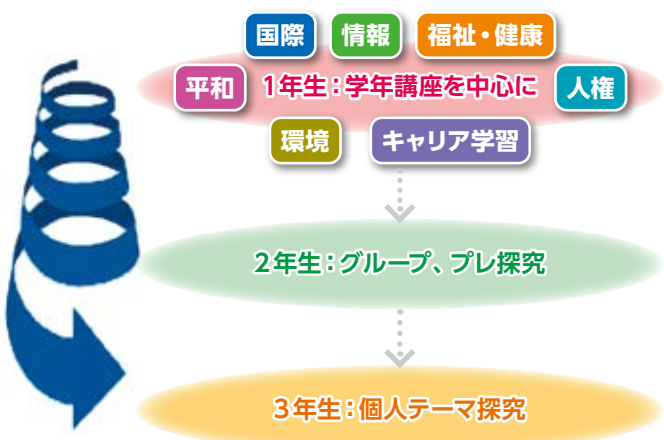
SDGsを意識したマルチステークホルダー連携による教育活動の推進 ～総合的な学習の時間 (ER*) を中心に～

3年間を見通したプログラムとテーマ別探究活動の充実

《目的と活動》

本校では、総合的な学習の時間を中心に本学で推進するSDGsとのつながりやマルチステークホルダーとの連携・協働を生かした学習プログラムを提案・実施し、持続可能な社会づくりに主体的に参画できる生徒の育成に取り組んでいる。学習プログラム開発においては、校内共通研究主題や教科指導の蓄積、「ESDの学習指導過程を構想し展開するために必要な枠組み」(国立教育政策研究所2012)、社会課題への関心を高める講座制授業(平和・福祉・国際・環境など)、3年間を見通したスパイラルな取り組み【インプット(第1学年)→プレ探究(第2学年)→個人テーマ探究(第3学年)】、行政、NPO、外部・専門機関との連携などに留意している。各学年の取り組みは、前期末にER交換会(学習成果発表会)で全校生徒・教職員・保護者・地域および関係者とともに共有し、PDCAサイクルや「選択と集中」を意識したカリキュラム・マネジメントを行っている。

*ER: Earth Rise (アースライズ=月の地平線から、地球が昇ってくる風景)の略で、本校の総合的な学習の時間を指す。この名称を2000年度から取り入れ、ER交換会とは学習成果発表の場として2002年度から実施している。2019年度からは、3年生全員が個人テーマ探究・発表を行っている。また、全学年からなるER交換会実行委員会を組織し、企画・運営を行っている。



2019年度総合的な学習の時間 (ER) 年間指導計画

岡山大学教育学部附属中学校

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生 年間50時間 学年プログラム インプット	4月 ・ERオリエンテーション(2) ・新聞作り(2)	5月末 学年共通講座(ESD、SDGs基礎)(2) 5月大山まとめ ・新聞づくり(2) ・学年交流会(2)	6月～7月 テーマ別講座(国際、情報、平和、福祉、環境、キャリア(各2×6=12)) ※キャリアに岡大教育学部訪問を含む			9月 まとめ ・学年共通講座(1) ・新聞づくり(2) ・クラス発表会(1) ・新聞づくり(2) →学年発表会(2)	ER交換会 10月～11月 国際交流プログラム(4) ・岡山理科大グローバル教育センターの留学生と交流	11月 11/16 研究発表会				GIFT(2)
2年生 年間70時間 グループ、プレ探究	4月半ば～ ER京都(3) (プレ探究①) ・班別や企業訪問がフィールド調査になるように図書館やタブレットを活用して情報収集 ・班別自主研修計画 ・ER京都 ・帰ってきてからまとめ、考察 →クラス発表会→学年発表会		6月半ば～7月 平和学習プログラム(6) (プレ探究②) ・岡山空襲講演会 ・岡山市内平和FW ・6/29 岡山市戦災者追悼式 (実行委員・有志)		9/2～4 心の病について学ぶ授業(4) NPO LIFEほか ①全体学習(講演会など) ②担任による事前授業 ③交流授業(地域の事務所の方々と) ・10/9 多世代交流授業(2) NPO たっぴ・岡山教育学部・東山・操山公民館と連携 実行委員形式でのプレたっぴ実施 ・10/16 国際交流&芸術鑑賞授業(3) Watoto 受入実行委員会他と連携	キャリア学習プログラム(2) ・10/23 職業人に学ぶ(大学・企業・NPO) ・11/6、13、14 フィールド事前学習 ・11/12 マナー講座 ・12/4、11 岡山大学他学部訪問、地元企業(SDGs)、地元NPO/NGOへのフィールド訪問と交流、まとめ ・12/17 フィールド内発表会 ・12/24 学年発表会				2月頃 ER沖繩に向けて(3) ・探究テーマを決める。	GIFT(2) 進路学習	
3年生 年間70時間 個人テーマ探究	4月半ば～ 沖繩に向けて探究(4) ・テーマ、課題設定、探究 ・ER沖繩の活動全体の中から探究テーマを決める。 ・ER沖繩 ・帰ってきてからまとめ、考察→クラス発表会			7月半ば～ 個人テーマ探究(10) ・夏休み中にフィールドワーク調査 ・9月～まとめていく、共有していく クラス発表会→学年発表会→学年代表になった生徒はER交換会全体会で発表			(4) 後期 進路学習(2)	12月 GIFT(2)				

地域やマルチステークホルダーとつながる平和教育 ～岡山空襲戦跡巡りとともに～



《目的と活動》

本校では、平和フィールドワークを通して岡山空襲を追体験し、戦争の悲惨さや平和な暮らしのありがたさについて考える機会をもち、第3学年における沖縄平和学習へとつなげている。

1年生

戦争体験者による語り部講演会（1・2年生合同）（日笠俊男さん）
岡山空襲展示室の資料を用いての学習
附属学園近隣の戦跡巡り（玉井宮、大福寺、浄教寺、防空壕跡など）

2年生

戦争体験者からの聞き取り・レポート集発行
戦争体験者による語り部講演会（1・2年生合同）（日笠俊男さん）
岡山市中心部の戦跡巡り（蓮昌寺、岡山城石山門跡、金刀比羅神社、岡山神社など）
※班別自主研修
岡山市戦没者追悼式参加（有志生徒）
学校図書館特設展示（ER平和実行委員）
デジタル紙芝居上映会（ER平和実行委員）

3年生のER沖縄に向けた事前学習
ゲスト講師をお招きしての学年授業（佐藤信彦さん、安田純平さん*）
*新型コロナウイルス感染予防のため延期（来年度実施予定）

3年生

第1～2学年の学習をもとに様々なゲスト講師とともに、沖縄戦や基地問題、安全保障など、幅広く平和について学ぶ。
ER沖縄宿泊学習を通じた実地授業と、個人テーマ探究を行う。



多様な視点で推進するキャリア教育 ～岡山大学・地元企業・非営利セクターの現場へ～



《目的と活動》

本校では、いわゆる進路指導・職業教育のみならず「多様なキャリアに関心をもち、自ら生き方を考え、その実現に主体的に取り組む力を育む機会」として、3年間を通じたキャリア教育に取り組んでいる。岡山大学、地元企業、非営利セクター（NPO／NGOなど）の3領域からなる、職場やフィールドの現場訪問を含むプログラムを通して、生徒のキャリア発達を支援している。

1年生

岡山大学教育学部訪問
・キャリアとは何か
・学ぶとは何か
・学び方について
・研究室訪問



2年生

多世代交流授業「岡大附中生だっぴ」
（主催：NPOだっぴ、岡大附中 協力：岡大教育学部 参加者：おとな41名、大学生52名）
職業人に学ぶ会（ミニ講演会、パネルディスカッション）（中山芳一さん&尾崎茂さん&石原達也さん）
マナー講座
3領域キャリアフィールド訪問・冊子（訪問のまとめ）発行
【岡山大学】 9学部109名 法・経済・理・工・農・医（医、保）・歯・薬・環境理工学部
【地元企業】 9事業所35名 ベネッセコーポレーション 中国銀行 おかやまコープ
カンコーマナボネクト株式会社兼一般社団法人教育ソリューション研究協議会
株式会社みづゑ 環境学習センター「アスエコ」 株式会社廣榮堂本店
岡山放送株式会社 岡山市国際課（友好交流サロン）
【NPO／NGO】 11団体34名 AMDA 社会開発機構 だっぴ タブララサ
おかやまエネルギーの未来を考える会 ハートオブゴールド岡山
ホームレス支援きずな 岡山ニャンとかし隊
岡山県社会就労センター協議会 SGSG
岡山県ボランティア・NPO活動支援センター「ゆうあいセンター」
社会福祉法人恩賜財団済生会支部岡山県済生会



3年生

第1～2学年の学びを生かした進路指導
・ようこそ先輩 本校OBの青年層を招いての意見交換会（予定）
・ER個人テーマ探究 ・15の私へ（手紙） ・卒業式に向けて

人権・福祉

「こころを育てる授業」の推進
～当事者団体・現場とのつながりを生かして～

《目的と活動》

本校では、統合失調症やうつ病などの当事者の方々と交流する学習プログラムを実施し、こころの不調や精神疾患についての知識を得ることで、病気を予防したり、自他の不調に気づき、周囲の人や相談機関などにSOSを発信したり、周囲に相談したりする力を育成するとともに、偏見・差別のない共生社会の実現を目指している。

1年生

- ハンセン病学習プログラム
- ・ハンセン病を知る（事前学習）
 - ・映画「あん」視聴
 - ・沢知恵さん講演会
 - ・図書館特設展示
 - ・長島愛生園訪問



2年生

- こころの病を学ぶ授業 ER「こころ」
- ・実行委員および関係者打ち合わせ会
 - ・ゲスト講師による学年授業
田淵泰子さん（精神保健福祉士・LIFE代表） 吉村優作医師（公益財団法人慈圭会慈圭病院）
佐藤光源医師（元日本精神神経学会理事長・東北大名誉教授）
 - ・学級担任による授業
 - ・実行委員主催の当事者交流会（クラスごと）
- ※教員研修「メンタルヘルスリテラシー教育とは」(全職員対象)
指導案検討会（当該学年教員）



3年生

- ・テーマ別学習プログラム
（女性・子ども・高齢者・障害者・在住外国人・インターネットなどの人権課題）
- ・ER個人テーマ探究

全校

保健委員会による「こころの病」啓発運動

国際

多文化共生につながる英語・国際教育の実践
～留学生やゲストとの交流を生かして～

《目的と活動》

本校の英語・国際教育では、様々な国出身の留学生との交流を通して、世界には多様な国や文化があることを知り、グローバル社会に対する興味関心を高めるとともに、他者とのコミュニケーションを大切に、相手の文化を理解しようとする態度を養うことを目指している。また、GIFT*講演会では、講師に海外出身の方や海外経験のある方をお迎えし、グローバル社会における視野を豊かに広げる機会をつくっている。

*岡大附属中同窓会 Green International Friendship Teachers 基金

1年生

- ・岡山理科大学留学生との交流行事
- ・GIFT基金講演会（バスネット・ナバラジさん）
- ・内閣府青年国際交流事業



2年生

- ・SMS Seri Puteri 校（マレーシア）との学年交流
- ・Watoto（聖歌隊「ワトト・チルドレンズ・クワイヤ」）との交流（英語・音楽）
- ・GIFT基金講演会（タカ大丸さん）
- ・SMK(P) SRI AMAN 校（マレーシア）との学年交流*
*新型コロナウイルス感染予防のため中止



3年生

- ・SMS Seri Puteri 校（マレーシア）との学級交流
- ・GIFT基金講演会（原田謙介さん）
- ・岡山外語学院日本語研修生との交流行事



全校

Watoto 公演鑑賞（芸術鑑賞会）
Watoto 公演楽屋ボランティア・通訳ボランティア（有志生徒）
International Meeting（Summer / Winter）（有志生徒）
NPO ICOI 岡大グローバル人材育成院

2019年
10月3日(木)

ER交換会プログラム

- 【時程】・開会行事、各学年代表による発表(体育館) 9:00 ~ 10:00
・展示・発表(2・3年生教室・各展示場所) 10:15 ~ 11:45
・まとめと振り返り(各教室) 12:00 ~ 12:45
・閉会行事(体育館) 13:35 ~ 13:45



第1学年 ER基礎 (体育館・ダンス教室)



安全・情報・環境・平和・キャリア等に関わる講座を通して、社会への「参加・参画・貢献・奇与」の基礎となるスキル学習・体験学習を行いました。学習は各グループで新聞の形式でまとめ、学級・学年発表会を行いました。プレゼンテーションや質疑応答で情報を共有したり、互いの意見を交換したりできました。

第1学年 奥大山宿泊学習 (体育館・ダンス教室)



5月12・13日で奥大山へ行きました。研修内容は、象山登山・ウォークラリー、スタンプ大会、野外炊事、焼板の絵付け体験と盛りだくさんでした。研修後の振り返りを新聞の形式で行いました。新聞社の方の講義を直接受け、各グループが工夫を凝らしてまとめています。是非、ご覧ください。

第2学年 ER京都宿泊学習 (体育館・ダンス教室)



私たちはER京都宿泊学習で、班別自主研修、能楽体験、伝統工芸体験、嵐山散策、伝統芸能体験、キャリア講演会、京都大学講義、企業・大学訪問を行い、教科で学習したことやSDGsとのつながりを大切にしながら、問いをもって取り組んできました。今回は学年代表班によるステージ発表と各班が作成したまとめ新聞を展示します。私たちの学びの成果を是非見に来てください。

第2学年 ER平和実行委員会 (体育館・ダンス教室)



私たちは1年次のER平和講座での学びをさらに深めるため、空襲体験者のお話を聞いたり、市街地で班別フィールドワークをしたり、岡山市主催の追悼式に参加したりしました。私たちが学んだことを次の世代に伝えられるよう工夫して発表します。皆さんも平和について考えてみてください。

第2学年 ERこころ実行委員会 (体育館・ダンス教室)



私たちは専門家の先生方の講演を聞いたり、各クラスで考えたり、当事者の方と交流したりすることで、こころの病について学習してきました。この学習を通して、自分のこころに向き合うこともできました。学年として取り組んだこと、学んだことを皆さんにも知ってもらいたいと思っています。

第3学年 ER沖縄宿泊学習 (多目的1教室)



私たちの学年は、10月3日のER交換会に向けて、ER沖縄宿泊学習を軸に個人探究を行ってきました。本日の発表に至る前のそれぞれの「問い」や途中経過を、沖縄の写真や資料とともに展示しています。どうぞご覧ください。

第3学年代表生徒「沖縄の海と瀬戸内海、真の「きれいな海」はどっち!?」(体育館)



ER沖縄宿泊学習を経て考えたことがあります。それは「海」についてです。私は夏休みに瀬戸内海、渋川マリン水族館を訪れました。そこで見た海と沖縄で見た海は全然違いました。ではなぜなのか。館長さんの岡さんにもご協力いただき、自分なりにまとめてみました。

第3学年代表生徒「地域の観光産業」(体育館)



ER沖縄宿泊学習を通して、地元岡山の観光産業をよりよくするために中学生の私には何が出来るのだろうと思い、探究を始めました。探究を進めていく中で、私の知らないところでたくさんの方が魅力を情報発信するために動いていたことを知りました。観光産業が発展し続けるために私たちにできることは何かを考えていきましょう。

第3学年代表生徒「持続可能な観光産業」(体育館)



観光産業は、「環境」「社会」「経済」という持続可能性についての構成要素に関わりがあります。消費者側の私たちに求められる姿勢とは何なのか…自然の声を傾けてみませんか。

第3学年代表生徒「住み続けられるまち」(体育館)



SDGs11「住み続けられるまちづくりを」。この実現のために私たちは「住み続けられるまち」について考える必要があります。「住み続けられるまち」について考えるきっかけとして、私なりの「まち」の捉え方を紹介します。

第3学年代表生徒「魅力的な場所になるには？」(体育館)



沖縄と犬島での体験を通して、魅力を感じさせる街づくりを学びました。SDGsとの関連を考えながら、観光の側面から持続可能な社会を見つめます。

特定非営利活動法人 だっぴ (武道教室)



中高生を対象にしたキャリア教育事業「中学生・高校生だっぴ」を行政・学校と協働して実施。延べ13市町村36ヶ所、およそ2,400人の中高生に大学生や大人との多世代交流の機会を届けてきました。附属中学校でも10月9日にこのプログラムを実施する予定です！

独立行政法人国際協力機構 岡山県 JICAデスク (武道教室)



JICAは途上国の発展に寄与するため、様々な形の国際協力事業を行っています。私たちの豊かな暮らしと途上国で起きている課題とは関連があります。プースでは、青年海外協力隊事業をはじめ、JICAがどのような活動を行っているのかをご紹介します。この機会に世界と自分たちのつながりを知り、ともに生きる明日のためにどのようなことができるのか一緒に考えてみませんか？

特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構 (武道教室)



AMDA-MINDSは、岡山県に本部を構えるAMDAグループの一員で、貧困と社会的疎外に苦しむ地域の人々の生活向上に寄与するため、現在、アジア・アフリカ・中南米の7カ国において貧困削減や健康増進などSDGsの様々な目標達成に貢献する事業を実施しています。

岡山市立東山公民館 (武道教室)



岡山市立東山公民館では、地域課題やESDなどの社会的課題などをテーマにした主催事業に取り組んでいます。その一つに「東山ESDクラブ」という活動があり、今年度の平和学習の中で附属中学校の皆さんにご協力いただきました。

特定非営利活動法人 岡山NPOセンター (武道教室)



私たちが最終的に目指すのは「豊かな市民社会の実現」。NPO・市民活動団体・ボランティア団体などに対して、相談や研修・啓発活動に関する事業を行い、ネットワークを構築しながら社会をよりよくしていきます。

岡山理科大学グローバル教育センター (武道教室)



当センターは、学内の国際交流を活発にすることで探究力の向上、多文化共生社会の構築および留学生を岡大附中や新庄村に派遣し、地域と連携することで県内のグローバル人材育成に寄与することを目的に活動しています。

環境学習センター「アスエコ」(武道教室)



環境学習センター「アスエコ」では、環境に関する出前講座を300件以上開催しています。また、施設見学も受け入れており、中学生の職場訪問も受け入れています。当日は、出前講座の紹介と実際のプログラムの一部も展示します。

特定非営利活動法人 おかやまエネルギーの未来を考える会 (武道教室)



子どもたちの未来に希望を残すためには気候変動をくい止め、持続可能な社会づくりが必要です。そのために、省エネをしつつ自然エネルギー 100%を目指し、活動しています。